

名古屋市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定

株式会社ヤングドライと容器・包装3R推進協議会及び名古屋市は、市民のライフスタイルや事業者のビジネススタイルをより環境にやさしいものへと転換を図り、ごみ減量とCO₂削減を推進し循環型社会を構築するため、市民・事業者・行政が協働して以下のとおりレジ袋の削減に取り組めます。

- 1 株式会社ヤングドライは、下記店舗において、お客様に対してマイバッグ等の持参を呼びかけるとともに、平成21年5月1日からレジ袋（ごみ・資源の指定袋を含む）の無料配布を行わず、レジ袋のお断り率90%をめざします。


ヤングドライ池下店、今池店、八田店、バロー戸田店、内田橋店、西友熱田店、アルテ太平通店、錦店、栄店、フランテ新中島店、鶴舞店、中川店、浄心店、吹上店、御器所店、ヤマナカ小田井店、マックスバリュ味鋤店、新瑞橋店、バロー野並店、大曾根店

- 2 株式会社ヤングドライは、レジ袋収益金を環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表します。
- 3 株式会社ヤングドライは、レジ袋削減の活動状況やお断り率の状況などを、定期的に容器・包装3R推進協議会に報告するとともにその内容を公表します。
- 4 市民団体は、上記店舗のレジ袋削減・レジ袋無料配布中止の取組を積極的に支援します。また、マイバッグ等の持参によるレジ袋削減を市民に呼びかけ、運動を拡大します。
- 5 名古屋市は、上記店舗のレジ袋削減・レジ袋無料配布中止の取組のPRなどの支援を行うとともに、その効果や課題を調査し、容器・包装3R推進協議会に報告します。
- 6 容器・包装3R推進協議会は、上記店舗のレジ袋削減・レジ袋無料配布中止の取組の支援を行うとともに、その効果や課題を評価・公表することなどを通して、本活動の拡大をめざします。
- 7 この協定に定める事項を変更しようとするとき、この協定に定めのない事項で必要が生じたとき、または、この協定に関し疑義が生じたときは、協定締結当事者で協議の上、定めるものとする。

平成21年 3月31日

株式会社ヤングドライ

代表取締役

析谷義隆 

容器・包装3R推進協議会

委員長 小木紀之 

市民団体

あいちゴミ仲間ネットワーク会議

名古屋市子ども会連合会

名古屋市地域女性団体連絡協議会

名古屋市保健委員会

なごや消費者団体連絡会

名古屋市立小中学校PTA協議会

名古屋市

市長 